

平成28年度 府中市男女共同参画 市民企画講座事業一覧

| 事業名 | 事業目的 | 事業内容 | 対象者 | 見込まれる成果 | 参加人数 | 講師 | 日時 | 委託金 | 事業効果 |
|--|--|---|---|---|----------------------|--|---|--------|---|
| 1 楽しいゲームで認知症予防! | 子どもから大人まで、認知症に対しての正しい理解を深めつつ、悲しい事件や事故が起こらないように、認知症にならない老後を目指し、介護予算の削減をも目指します。 | テーマ:楽しいゲームで認知症予防 方法:20のゲームを活用して、楽しみながら、認知症の理解、人と人とを優しくつなぎ、自然に脳活性の訓練をします。 | 興味のある方 | 2025年問題を前にして、認知症は人ごとではなく、どこの家庭でも係わってきます。幼稚園の子どもから働き盛りの大人まで正しい理解をし、優しさのシャワーが入っているこのゲームを継続してすることで、自然に脳トレをしながら、人と人とが安心できるつながりを、居心地の良い場所作りができます。 | 各回5人 | 加藤 良江 NPO認知症予防ネット認定リーダー、レクリエーション介護士2級 | ①5月13日(金) ②5月27日(金) ③6月10日(金) ④6月24日(金) 10:00~12:00 | 30,000 | ・最初は、なかなか動かなかつた指も、回を重ねるごとに上手になってきた。 ・実際に、自宅や、ボランティア等でゲームを行うことができた。 ・回を重ねることにコミュニケーションがとれ、今後毎月1回継続の話ができた。 |
| 2 今、なぜ「少子化」が問題になるのか? | 結婚するとかしないとか、子どもを産むかどうか、いつ産むか、何人産むかといったことは、個人や当事者間の問題で、不妊治療などの生殖補助医療といわれる当事者の身体に負担を強いることは、「少子化だから」と産むことを求めるような社会的状況に左右されることなく、当事者が望む支援の環境を整えることが必要です。女性の健康や医療、人権について考えるリプロダクティブヘルス・ライツを学習するための講演会です。 | 少子化対策として不妊治療を推進し、年齢が若いうちに結婚・出産を奨励する政策について、リプロダクティブライツの視点で考え、知識を女性の力にしていく方法を一緒に考えます。 | 未婚・既婚を問わず、幅広い世代の方 | リプロダクティブライツの考え方はすべてのカップルと個人が、差別や強制を受けることなく生殖に関する決定をおこなうことができるということです。少子化の問題も格差の問題も暴力につながるものがあります。このリプロの考え方を学習することで、男女が個性と能力を発揮できる社会の実現につなげていきたいと考えています。 | 20人 | 柘植 あづみ 大学教授 | 5月14日(土) 14:00~16:00 | 29,200 | ・本来「産む・産まない」は個人的な選択であり、問題点を考えるきっかけとなった。 ・産んでも産まなくても幸せな社会とは、「私が選ぶ」ことを尊重する社会であり、そうなるように必要な支援を提案していくことが大切だと考える学習会となった。 ・若い人たちの参加があり、子どもをもつ女性の価値観や女性の立場に立っていない少子化対策についてなどの意見が寄せられた。 |
| 3 絵本と語り ~とっておきのおはなし会を~ | 生の声で物語や昔話を聞くことは、幼い子どもはもちろん、大人にとっても心安らぐひと時です。それは、お話を届ける語り手にとっても同様です。時間に追われる現代だからこそ、この時間は大切です。気に入った絵本を読んだり、昔話を語り、お話し会を作ってみましょう。地域や学校でぜひ実践してください。 | ・絵本について:歴史、絵本との出会い、年齢別、テーマ・季節など ・語りについて:歴史、語り(すばなし)、子供向け、大人に。 ・お話し会について:趣旨、テーマ、場、対象など、実際に作ってみる *各回ワークショップを交えて行う。 | 成人 | 実際に体験することで、楽しさや必要性を感じてもらいたい。講座がその糸口になってほしい。 子ども達対象のお話し会を家庭や地域で気楽にできるように。また、大人も(女性、男性、お年寄り)、昔話や物語、そして自分の体験をパーソナルストーリー(今、盛んです)にして語り合い、聞き合う社会になってほしい。 | ①30人 ②29人 ③30人 | 須山 優子 NPO法人語り手たちの会理事、おはなし夢くらぶ主宰、全日本語リネットワーク会員 | ①6月16日(木) ②7月14日(木) ③8月25日(木) 10:00~12:00 | 19,700 | ・実際に、発声から、歴史、実践へと学んだので、参加者は楽しく、発表会まで進んだ。 ・もっと学びたいという、うれしい感想をいただいた。 |
| 4 親子で学ぶ自己紹介のコツ | 家庭内での対話や社会と接する場面における対人コミュニケーションの質を高め、親子ともに生き生きと自己表現することの支援を通じて、男女ともより住みやすい社会づくりを目指します。 | レクチャーと参加型ワークの組み合わせによる参加型講座。 ・クイズ形式で言語、非言語コミュニケーションの特徴を知る ・「声の大きさ」「ジェスチャー」「アイコンタクト」の修得 ・「聴くこと」の重要性を理解 ・ショートプレゼンテーション実演、指導 | 小学生とその親(親子で受講) | 親子間や対社会においてコミュニケーションの悩みや不安を抱く方は数多くいます。本講座を通じてコミュニケーションの本質と重要性を一緒に学ぶことで共通理解を得、家庭内および社会との対話を促進し、男女共同参画社会の推進に寄与します。 | 15人 | 芦沢 壮一 プレゼン技術コーチ | 6月25日(土) 14:00~16:00 | 24,015 | ・お子さんからは、楽しく学べ、学校でも使えそう、という感想をいただいた。 ・保護者からは、子どもにとってだけでなく親自身の学びになり、また参加したいという声をいただいた。 |
| 5 ~家族でカラーコミュニケーション~ 夏休み!色育(いろいろ)体験しよう | ・日々時間に追われている、働いているパパ・ママたちとその家族にコミュニケーションの場を提供すること。 ・身の回りにある色をツールとして、楽しくワークをしながら、自己肯定・他者肯定・お互いが尊重し合える人間関係を学ぶ。 | 身の回りにある色をツールとして、楽しくワークをしながら自己肯定・他者肯定、お互いが尊重し合える人間関係を学ぶ。 ①色についての座学 ②バルーンアート制作 ③家族で塗り絵の交換 | 全ての家族 | ・自宅でも家族で気楽に楽しく続けられる「色育」を、ワークライフバランスのアイデアの1つとして今後も活用していただける。 ・家族対象の講座を行うことで、男性の方にも女性センターを利用していただくキッカケの場となる。 | 14組 36人 | ①坂本 優子 ②高梨 珠子 ①日本色育アドバイザー ②世界公認バルーンアーティスト | 7月31日(日) 14:00~16:00 | 27,700 | ・自宅でも家族で気楽に楽しく続けられる「色育」を今後もワークライフバランスのアイデアの1つとして活用してもらおうきっかけとなった。 ・ファミリーで参加した方も多く、男性の方にも女性センターを利用してもらうきっかけとなった。 |
| 6 自分らしい起業のしかた “第1歩”を学びませんか♪ | 今、高齢化と人口減少が進む中、女性の力は不可欠です。そのなかでも、自分らしく働ける起業が進めばと思います。しかし、仕事は思うようにはいかないものです。そこで、第1歩はとても大事。仕事に対する自覚と自分に対する自信をもてるような講座を開催したいと思っています。 | 子ども連れで気軽に楽しめるカフェを運営される中「ヒップホップ」「ヨガ」など教室を開きたい方に場所の提供などされている講師から、起業するときの心構え、利点や注意点などを学びます。 ・講師からの話 ・参加者すべてから、心境や状況などを聞いて、それについて講師からアドバイスをもらいます。 | 好きなことを趣味ではなく仕事にしてみたい、今までの経験を活かして起業してみたいと考えている女性 | 男性に比べて、まだまだ女性が活躍する場が少ないのが現状です。柔軟に物事に対処できる女性が力を発揮できる場を自らつくり、それが増えていくことは、男女共同参画推進につながるといいます。この講座で、自分に合った仕事、起業の第1歩を踏み出したい女性を応援したいと思っています。 | 28人 | 藤本 玄太 会社 代表取締役、保育士・幼稚園教諭二種、ホームヘルパー2級 | 9月14日(水) 10:00~12:00 | 22,840 | 起業については関心が高く、質問が飛び交い、受講者の満足度が大きかった。また、講座後もロビーで話が止まらなかった。来月にはコトカフェで、(都合つく)18人が集まって、第2弾の集まりをすることとなった。 |
| 7 幸せを引き寄せるために「あなたを護る対人スキル習得講座」 | 女性が暴力被害にあったり、支配・服従関係に陥ったりしないための知識とスキルを身に付けることを目的とする。 | DVや支配服従関係に陥らない為に、お互いを尊重し合う関係との差を学び、実際にDV被害者がどれほど強く自身を喪失し、経済的困難や孤立に結びつき易く抜け出すことが困難であるかを学びます。そして若い女性が経験しやすいシーン別に「自己主張的にふるまい暴力を受けやすい場を避けるスキル」を体験します。 | 30代までの未婚女性を中心とする | 女性が人間関係や相手に疑問を感じた時、自分自身で判断し避ける技術や方法を獲得し自らの人間関係を主体的に選べるようになること。尊重しあう関係を知ることで良い選択できることを目指します。 | 12人 | 飯野 弘美 産業カウンセラー、精神保健福祉士 | 9月24日(土) 13:30~15:30 | 24,885 | 講座受講によって改めて自らの環境を振り返り、実はDVとは身近に起こりうるものであることを知るとともに「女性が人間関係や相手に疑問を感じた時、自分自身で判断し避ける技術や方法をもつことで自らの人間関係を主体的に選べる」を確認していただいた。 |
| 8 子育て支援リトミック | ・特性の違う男女が子育てにどう関わっていけば良いのか? ・自己肯定感を高める子育て(自己肯定感が著しく低い日本人) ・母親が子育てするものという風潮を払拭して社会全体で子供を育てる! そんな事をテーマに、お話ししながら、シナプソロジー(脳の活性化プログラム)を取り入れながらの育児支援リトミック講座で、苦しさや孤立しがちな子育てを、男女一緒に~社会全体で、楽しく子供を育てる! そんな府中市をイメージしてこの講座を継続して開催していきたいと思えます。 特に、普段仕事で多忙で、子供にどう接してよいかわからない父親に多く参加していただきたい。 | 子育て支援リトミックピアノ、パワポを使いながら、皆さんが意見を言い合い、音の効用を使ったコミュニケーションで、子育てを楽しむ方法をお伝えします。 | 2~3歳の子と親(どなたでも) | 大切なことは「子育ては母親がするもの」「母親が子供の面倒を見るのが当たり前」という風潮がなくなること。 どうすればいいかわからない父親への気づき、そして子育ては夫婦で、そして行政を巻き込んで社会全体です。超高齢者社会の中で、社会の子として子供を育てる府中市に! | 15組 31人 | 榎本 久美子 リトミック講師、シナプソロジー教育トレーナー | 10月1日(土) 10:00~12:00 | 22,730 | ・親子リトミックを楽しむことで、聞く力(内的聴覚)イマジネーション(想像力)クリエイション(創造力)を引き出すことができた。 ・親子の触れ合いによる楽しい子育て時間を体験することができた。 |

府中市男女共同参画計画 重点項目一覧(各委員評価結果)

男女が共に参画するまち府中プラン

【評価基準】 ※→は評価点数換算
 A…施策は非常に良好に進展している → 5
 B…施策は、良好に進展している → 4
 C…現状維持 → 3
 D…施策がやや後退している → 2
 E…後退している → 1

I あらゆる分野における男女共同参画

1 社会・地域における男女共同参画

(1) 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

| | | | 各委員による評価 | | | | | | | | | | 評価平均 |
|---|-------------------|--|----------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|------|
| 2 | すべての審議会等に女性の委員の登用 | 政策課 | D | C | D | D | D | C | D | D | D | C | 2.3 |
| | 特記事項 (コメント) | <p>・90%以上の目標に届いていない(84.6%)、女性委員の割合が3.9%減などからこの評価とした。 ・女性委員の割合が下がっているという現状もあるが、減少率が5%未満のため、単に施策が後退しているとは言えないので、この評価としました。難しい状況を理解できますが、女性登用促進策を継続してください。また、女性委員がいない審議会への具体的なアプローチ策などの提示をお願いしたい。 ・目標90%に達成していません。努力してください。 ・女性委員がいない審議会は、まちづくりや都市計画に係る審議会であるが、これらにも女性の視点を取り入れるべきであり、関係団体からの選出だけでなく、女性公募委員の登用も必要である。 ・まだすべての審議会等での女性委員の登用が達成していない。 ・実績は減少したものの、計画の中身がヒアリングをやったことで女性登用への働きかけの姿勢がやや積極的になったように思われることからCにしました。 ・H27年は、女性委員の割合が全体で31.8%と、H26年度の32.2%より減少している。H27年度目標の35%は達成出来ていない。今回の評価では、【別表】(全ての審議会・協議会の女性委員の割合が載っているもの)がないため、個々の検討は出来ない。 ・女性委員の割合の減少に対し、前年度と同じ対策では、増加に転じない。女性の専門分野での活躍されている方は必ずいるので、団体の窓口だけでなく、個人的推薦をしていただきたい。 ・課の立場上、スタート地点に位置しているので、あと一步具体的な改善内容の提示を期待する。 ・せめて目標は各委員会等の女性委員の登用は100%、構成比のそれは50%でいきませんか。</p> | | | | | | | | | | | |
| | 判定理由及び改善策の提言等(案) | <p>「男女両方を含む附属機関等を90%以上とする」という数値目標に届いていないこと、女性委員の割合が全体で31.8%と、H26年度の32.2%より減少していることからこの評価としました。計画には「最終的に女性の委員がいない審議会をなくすことを目指します。」とありますので、前年と同じ数値目標ではなく、暫時引き上げていくようにしてください。 なお、女性の委員がいないのは、まちづくりや都市計画に係る審議会ですが、これらにも女性の視点を取り入れるべきであり、関係団体からの選出だけでなく、女性公募委員の登用も必要と考えます。あと一步具体的な改善内容の提示を期待するとともに、次回の改選時には女性の委員を必ず入れ、女性のいない審議会等を無くすよう要請します。府中市は人材が豊富であると思しますので、もっと女性の委員を増やす努力をお願いします。 ヒアリングに応じていただいた内容を活かし、今後の実績値のアップに期待します。</p> | | | | | | | | | | | |

D

(5)市職員等の男女共同参画の推進

| | | | 各委員による評価 | | | | | | | | | | 評価平均 |
|----|------------------|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|------|
| | | | C | C | C | C | C | D | C | C | C | C | |
| 22 | 職員に対する研修会、講演会の実施 | 職員課 | C | C | C | C | C | D | C | C | C | C | 2.9 |
| | 特記事項 (コメント) | | <p>・職員全員を対象に継続的に講演会を企画、運営している点は評価できる。本講演会およびディスカッションが、女性管理職への登用やワーク・ライフ・バランスが実現できる職場に寄与していることが確認できれば、さらに評価したいが、現状左記の点が確認できないので、この評価とします。</p> <p>・引き続きPRや講演会を実施してください。</p> <p>・全職員対象でなく、女性職員のみを対象とした研修会、講演会を実施することが、職場内の慣行や固定的な役割分業の改善につながると思う。</p> <p>・参加する職員が少ない。もっと意識が高くなるような働きかけが必要ではないか。</p> <p>・全職員を対象として、毎年講演会を行っているのは素晴らしいが、参加人数があまりにも少ないことと、どのような内容で成果が出ているのかをきちんとまとめていただきたいです。</p> <p>・H27年度は、担当課と共催で講演会を実施し、44人の参加者(男26人、女18人)実績あり。だが、新項目(H26年度評価項目にない)ため、比較評価は困難。</p> <p>・研修、講演会の回数、参加人数の数値目標を決め(受講者の全職員からの%も)、次年度に臨んでほしい。</p> <p>・講演会後の発展性を考えて欲しい。</p> <p>・講演会の講師も内容もわかりませんが、出席者が少ないのは残念。女性フォーラムにもっと参加を呼びかけてください。</p> | | | | | | | | | | |
| | 判定理由及び改善策の提言等(案) | | <p>参加人数が少ないですが、職員全体を対象に継続的に講演会を企画、運営している点は評価できるので、この評価としました。</p> <p>男女平等や男女共同参画社会づくりについての意識啓発が進めば、女性管理職の登用にもつながることと思います。職場内の慣行や固定的な役割分業の改善につながるよう、全職員対象だけでなく、新人研修や新任管理職研修、男性職員対象、ライフサイクル別等の研修会の実施を検討してください。また、全職員を対象にする場合にも、参加を義務付ける等の新たな手段を講じて、参加人数の増加に努め、府中市が男女共同参画宣言都市であることの認識を高めてください。</p> <p>また、実施回数や参加人数の数値目標を定めるとともに、研修の目標・講師名や内容、ワーク・ライフ・バランスの実現の効果についても具体的に記載をしてください。</p> | | | | | | | | | | C |

2 教育の場における男女共同参画

(1) 学校における男女平等教育の推進

| | | | 各委員による評価 | | | | | | | | | | 評価平均 |
|----|------------------|--|----------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----------|
| 31 | 男女平等教育の推進 | 指導室 | C | E | C | C | C | D | C | E | C | C | 2.5 |
| | 特記事項 (コメント) | <p>・「人権教育の一環として実施、目標の数値化困難」では、実態を把握することはできない。もっと具体的に記述してほしい。</p> <p>・どのような教育をしたのか具体例がなく、評価しようがない。</p> <p>・内容がわかりませんので、現状維持でこの評価にしました。</p> <p>・数値目標は困難であるとのことだが、教職員対象にアンケートを実施するなどし、問題点、課題を抽出し改善につなげる必要がある。</p> <p>・具体的に人権教育にどのように取り入れて実践しているのか、数値化できなくても言葉で説明していただきたいです。</p> <p>・H27年度は、人権教育の一環として実施とあり、数値目標の設定が難しいとあるが、具体的な実績記載がないため評価は困難。新項目(H26年度評価項目)にないため、比較評価は困難。</p> <p>・この回答では、「指導室では男女平等教育は人権教育の一環として(その内容も明記されることなしに)実施しているので、特には何もしていない」と読めてしまう。評価できる回答を先ず求める。</p> <p>・今後世代育成のための牽引役の自覚をもっての行動が求められる。</p> <p>・小・中学校に少なくとも男女共同参画モデル校を1校か2校応募してもらう様な事は出来ませんか。</p> | | | | | | | | | | | |
| | 判定理由及び改善策の提言等(案) | <p>どのような教育をしたのかの具体例がなく内容がわかりませんので評価することが難しく、具体的な目標も定められていないため、この評価としました。</p> <p>教職員対象にアンケートを実施する等して、問題点や課題を抽出した上で、その改善につなげる努力と教職員自身が捉われているジェンダーバイアスや隠れたカリキュラムの是正に向けた努力をお願いします。</p> <p>また、府中市は男女共同参画都市宣言をしていますので、男女共同参画推進モデル校を設置することはできないか検討してください。</p> | | | | | | | | | | | D |

Ⅱ ワーク・ライフ・バランスの推進

1 仕事と生活の両立支援推進

(1) 職場におけるワーク・ライフ・バランスの推進

| | | 各委員による評価 | | | | | | | | | 評価平均 | | |
|-----|--------------------|--|---|---|---|---|---|---|---|---|------|---|-----|
| 38② | 啓発活動の充実と関係機関との連携強化 | 市民活動支援課 | B | B | C | C | B | C | C | B | C | C | 3.4 |
| | 特記事項 (コメント) | <p>・参加者を多く集めていることを評価した。連携先(事業項目22番)の数値目標と合わせるように。 ・数値目標を設定し、職員に対して確実に研修を実施している点は評価できる。アンケート結果等で主だった意見等が提示されると、今後より良い評価ができると思います。 ・引き続きPRや研修を実施してほしいのでこの評価にしました。 ・フォーラム基調講演の女性参加者80%と高いが、ワーク・ライフ・バランスを定着させるためには、男性職員、管理職の意識改革が必要であり、男性や管理職向けの研修も検討してください。 ・ワーク・ライフ・バランスを意識して取り組んでいる。 ・市民活動支援課が中心となり、市民への更なる浸透と啓発を図っていただきたいと思います。 ・啓発事業年間1回以上開催の目標に対して、H26年度は男女共同参画記念講演会を1回実施し、受講者85名(内男性15名)で、H27年度は男女共同参画推進フォーラムを1回実施して、83名(内男性16人)と減少したが、職員対象の研修年間1回以上の目標に対して、職員研修を実施して、H26年度は受講者34名(内男性18名)に対して、受講者44人(内男性26人)と増加した。 ・数値目標は達成されており、講演内容もよく、参加人数も多く好評だったようなのでこの評価とした。今後、参加人数目標やPR方法も課題として残っている。 ・良い方向性が見つけられつつあるように思われるので、この評価とした。 ・管理職対象の研修はいかがですか。</p> | | | | | | | | | | | |
| | 判定理由及び改善策の提言等(案) | <p>参加者を多く集めていることは評価しますが、フォーラム基調講演の参加者のうち女性の割合が80%と高くなっています。男性の参加者が増えるようPR等において工夫してください。また、ワーク・ライフ・バランスを定着させるためには、市職員(特に男性職員や管理職)の意識改革が必要ですので、研修の内容及び男性職員の参加者を増やすための検討をしてください。 数値目標は、年に1回以上の開催となっているので、フォーラムでワーク・ライフ・バランスがテーマにならない場合も必ず他で啓発事業を行うようにしてください。</p> | | | | | | | | | | | C |

2 子育て支援

(1) 保育サービスの充実

| | | | 各委員による評価 | | | | | | | | | 評価平均 | |
|----|-------------------|---|----------|---|---|---|---|---|---|---|---|------|-----|
| 45 | 待機児童の削減等低年齢児保育の充実 | 保育支援課 | C | B | C | C | D | C | C | D | D | C | 2.8 |
| | 特記事項 (コメント) | <ul style="list-style-type: none"> ・努力していることは伝わってくるが、報告書の記述。28年度目標にあるのは27年度の間違いか？計画・目標・結果の数値が読み取れない。 ・待機児童削減に向け、認可保育園の開設に向けて計画実行し、受け入れ可能な児童数を着実に増やしているため、この評価としました。 ・現状維持とし、この評価にしました。 ・待機児童の解消に向け、受け入れ体制拡大の努力を評価します。引き続き早期解消に努めてください。 ・引き続きの取り組みに期待しています。 ・市独自の新たな対応策に大いに期待しております。(個人的には、できれば3歳までは母親が家庭でしっかり子育てしてほしいと思っています。) ・H27年度計画では、0～2歳児の保育所定員総数が1830名で、H27の実入所数は1965名と定員を上回っている。待機児童数はH26年度は352人で、H27年度296人と前年に対して減少しているが、依然として低年齢児の待機児童が生じている。 ・低年齢児の待機が増加し、待機すらできない隠れ待機児童が増える中、全市において0才4人増という「焼け石に水」的対応ではとても追いつかない。市施策、市政の中でも最重要市民の注目度の高い項目なので、抜本的改革を求める。 ・早急に求められることなので、他の自治体の成功例などを積極的に取り入れての対応が求められる。 ・引き続き十分頑張ってください。 | | | | | | | | | | | |
| | 判定理由及び改善策の提言等(案) | <p>待機児童削減に向けて、認可保育園の開設についての計画を実行し、受け入れ可能な児童数を着実に増やしていますが、まだ低年齢児の待機児童が残っているので、この評価としました。</p> <p>待機すらできない隠れ待機児童が増える中、注目度の高い項目でもありますので、引き続き、民間事業者との連携や市独自の新たな対応策を進める等、特に低年齢児の待機児童の早期解消に努めてください。</p> | | | | | | | | | | | C |

(2)ひとり親家庭への支援

| | | | 各委員による評価 | | | | | | | | | | 評価平均 | |
|----|------------------------|--------|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|------|-----|
| | | | C | C | C | C | C | C | C | C | C | C | 3.0 | |
| 50 | ひとり親家庭の自立のための援助サービスの実施 | 子育て支援課 | C | C | C | C | C | C | C | C | C | C | C | 3.0 |
| | 特記事項 (コメント) | | <p>・府中市在住のひとり親家庭が何世帯か分かったら、さらに評価しやすい。現状は課題に対して、施策を実施していることが伺えたので、この評価としました。</p> <p>・現状維持とし、この評価にしました。</p> <p>・ホームヘルパーの派遣や給付金支給制度等事業の周知を図り、支援の拡大に努めてください。</p> <p>・利用促進に力を入れてほしい。</p> <p>・セミナーは参加者も少なく、むしろ個人対応の方が必須だと感じました。ホームヘルプサービスの益々の充実に期待しています。</p> <p>・ひとり親ホームヘルプサービスの派遣時間は、10,368時間でH27計画の7,286時間を上回った。(計画に付加時間が4,172時間別に記載があるため、合計では11,458時間で下回る) なお、H26年度の8,999時間に比べ増加し、派遣回数は、H26年度1,900回に比べ1,874回と減少した。ひとり親家庭自立支援事業は、高等技能訓練促進給付金で5件で目標値9件を下回り、教育訓練支給金では1件で目標値3件を下回った。セミナー開催は計画通り2回(参加者総計9人)実施された。</p> <p>・おおむね目標値、実施項目内容が達成されているので、この評価としました。</p> <p>・広報等、「ひとり親家庭支援事業」が周知徹底されるように努力してください。</p> | | | | | | | | | | | |
| | 判定理由及び改善策の提言等(案) | | <p>現状維持とし、この評価としました。</p> <p>引き続き、ホームヘルパーの派遣や給付金支給制度等の事業の周知を図り、支援の拡充に努めてください。</p> <p>また、府中市在住のひとり親家庭が何世帯あるか等、実態のわかる内容を加えていただくとさらに評価しやすいです。</p> | | | | | | | | | | C | |

3 介護支援

(1) 高齢者・障害者・介護者支援等の充実

| | | | 各委員による評価 | | | | | | | | | | 評価平均 |
|-----|------------------|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|------|
| | | | C | C | C | C | B | C | C | C | D | C | |
| 59② | 介護に関する知識や情報の提供 | 高齢者支援課 | C | C | C | C | B | C | C | C | D | C | 3.0 |
| | 特記事項 (コメント) | | <ul style="list-style-type: none"> ・目標の数値設定に努力してほしい。冊子の発行部数や配布先の拡大などもあるのでは？ ・これから重要となってくる介護問題に対して、介護保険制度をまとめた冊子を広く配布した点を評価します。数値目標になじまないとのことですが、年間でどのくらいの出前講座の要請があり、どれくらい対応できたのか(%)等や、出前講座の参加者にアンケートを取るなどし、満足度を数値目標にする等、目標の立て方に工夫する余地はまだあります。検討をお願いします。 ・取組を継続に実施しているので、この評価にしました。 ・冊子の配布先や配付方法、出前講座の周知方法、開催回数等を具体的に記載してください。 ・おとしよりの福祉はわかりやすくまとまっていて使いやすい。必要な方に確実に届くような配付方法を考えてほしい。 ・ガイドブックはお年寄りが理解できているのでしょうか。発行しているから良しとするのではなく、どこまで役に立っているかアンケート等で把握していただきたいと思います。出前講座はとても良い取組みだと思います。 ・出前授業は要請に応じてのため、数値目標は難しいと記載あり、「介護保険ガイド&おとしよりのふくし」発行部数は15,000部で、H26年度の12,000部の配布数を上回っている(配布数と発行部数のため単純比較は出来ない)。 ・おおむね実施項目が計画通りに行われているので、この評価としました。 ・「介護保険ガイド～」の冊子の発行等、実施内容で評価に値する部分を認めるも、必要とされる現場への浸透が完全とは言いがたく、より一層の努力が求められる。 ・出前講座の要請はどのくらいありますか？良い事なので、自治会等への押し売りはしませんか？また、どの項目になるかわかりませんが、親への虐待もあります。これも児童虐待同様に早期発見の手段を考える必要があるのでは。 | | | | | | | | | | |
| | 判定理由及び改善策の提言等(案) | | <p>介護保険制度をまとめた冊子を広く配布した点を評価し、この評価としました。</p> <p>冊子の作成にあたっては、介護が女性だけの負担にならないような男女共同参画の視点も大切です。</p> <p>冊子の配布先や配付方法、出前講座の周知方法、開催回数等を具体的に記載していただくとともに、冊子が必要な方に確実に届くような配布方法を検討してください。また、こういった情報が届かない方への情報の提供や高齢者虐待の防止のために、積極的な民生委員との協力を期待します。</p> | | | | | | | | | | C |

Ⅲ 人権が尊重される社会の形成

1 配偶者等からの暴力の防止

(1) 暴力の根絶に向けた取組の推進

| | | | 各委員による評価 | | | | | | | | | | 評価平均 |
|------------------|--------------|--|----------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|------|
| 62 | 暴力を防ぐための意識啓発 | 市民活動支援課 | C | C | C | B | B | C | B | B | C | C | 3.4 |
| 特記事項 (コメント) | | <p>「～の検討」は数値目標ではない。市主催講座は1回以上、市民が計画する講座開催を含めて2回以上としてはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>確実にセミナーを実行している点を評価し、この評価としました。来年度の計画に「事業実施会場を女性センターと限定せず、大学・高校・中学校等他の会場も検討する。」に期待しています。</u> ・現状維持とし、この評価としました。 ・講座の開催やキャンペーンの実施などいろいろ工夫している点を評価します。引き続き、受講者の拡大に努めてください。 ・キャンペーンなどを上手に利用し、学校などの会場の実施も検討されている。 ・更なる啓発活動に努めていただきたいと思います。声に出しにくい問題ですので、実施会場を女性センターに限定せずに広げていくのは良いことだと思います。 ・市主催の年1回の講座、市民が開催する講座開催の検討が数値目標で、H27実績は、DV防止を考える講座を1回、デートDV保護者向け講座を1回開催し、それぞれ受講者23人(男性0人)、受講者8人(男性1名)、で、H26実績は、DV被害者の現状と自立に向けた講演を1回開催し受講者12人(男性0人)に比較し、講座数、受講者数ともに増加している。 ・講演会の内容。会場の選定等、実績から今後の課題設定へ問題点(参加人数など)を的確にとらえ、次につなげようとしている点が良い。 ・目前の事象も問題ですが、デートDV等もあり、やはり教育が大切なので、小中高での話しが必要では？ | | | | | | | | | | | |
| 判定理由及び改善策の提言等(案) | | <p>確実にセミナーを実行し、パープルリボンキャンペーン等も上手く活用していることから、この評価としました。来年度の計画にある「事業実施会場を女性センターと限定せず、大学・高校・中学校等他の会場も検討する。」について、積極的な実施を求めます。</p> | | | | | | | | | | | B |

2 人権の尊重

(1) 家庭内暴力等の根絶に向けた取組の推進

| | | | 各委員による評価 | | | | | | | | | 評価平均 | |
|-----|------------------|--|----------|---|---|---|---|---|---|---|---|------|-----|
| 69① | 児童虐待を防ぐための意識啓発 | 子育て支援課 | C | D | C | C | C | C | C | B | C | C | 3.0 |
| | 特記事項 (コメント) | <ul style="list-style-type: none"> ・数値目標の設定の努力をしてほしい。月一回の情報交換とか、連携関係機関の拡大とか。 ・児童虐待を防ぐために何かしらの意識啓発策を実施していることは理解できるが、具体例がなく評価しづらいので、この評価としました。関係機関との連携により、虐待の実態把握をし、被害を最小限に抑えることも重要だが、子供をもつ市民への直接的な啓蒙(どうしたら虐待せずに済むか、心の持ち方など)できると活動としてはさらに良いものになるのではないのでしょうか。 ・<u>現状維持とし、この評価としました。</u> ・<u>関係機関との連携、情報共有の迅速化に努め、早期発見、早期支援に結び付けてください。</u> ・引き続き早期発見、早期対応のための取り組みに力を入れてもらいたい。 ・児童虐待防止の普及啓発の具体例をあげていただきたいです。なかなか実態の見えにくい問題ですので、市民への意識啓発を図ることによって、防止につながっていくことを期待したいと思います。 ・内容的に数値化が難しいと記載あり、H27実績は児童虐待防止マニュアルを活用し、関連機関との連携強化・情報共有の迅速化を実施とあり。内容的に数値化が難しいとあるため、具体的な実施実績の記載がなく評価は難しい。 ・数値目標の難しい項目ではあるが、増加傾向にある児童虐待を意識啓発から防いでいこうとする工夫が見られる。 ・<u>地域住民の協力を得る方法や、多方面からの監視体制の充実推進等も考えられないだろうか。</u> ・残念なことですが、現在虐待をしている人、しそうな人を啓発することはほとんど無理だと思います。早いうちに気づき、手段を講じることが大切だと思います。 | | | | | | | | | | | |
| | 判定理由及び改善策の提言等(案) | <p>現状維持とし、この評価としました。</p> <p>引き続き、児童虐待防止マニュアルを活用し、関係機関との連携、情報共有の迅速化に努め、早期発見、早期支援に結び付けてください。また、市民への意識啓発や地域住民の協力も含めた多方面からの監視体制の充実についても進めてください。次年度からは、市民への意識啓発について具体的な記載をお願いします。</p> | | | | | | | | | | | |

C

(3) セクシュアルハラスメント防止の推進

| | | 各委員による評価 | | | | | | | | | | 評価平均 | |
|-----|------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|------|-----|
| | | 職員課 | C | C | C | D | C | C | C | C | C | | C |
| 78① | 職員・教職員に対する研修会の実施 | 職員課 | C | C | C | D | C | C | C | C | C | C | 2.9 |
| | 特記事項 (コメント) | <p>計画の内容を読むといろいろ工夫・努力していることがわかるが、目標設定が前年と同様というのは残念。こちらでも一工夫してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確実に研修を実行した点を評価し、この評価としました。受けた側がハラスメントと感じれば、加害者がどう意図したかは別にハラスメントになってしまうもの。<u>職員全員に正しい理解が行き渡るように、年代別研修などに取り入れてはどうでしょうか。</u> ・<u>現状維持として、この評価としました。</u>今後も研修を実施してください。 ・研修の実施回数を増やすとともに、研修方法もいろいろ工夫して、参加者の増加を図ってください。 ・計画に積極性を感じます。他市との比較や継続的な取組等、主体的に事に当たろうとする姿勢を感じ、好感が持てます。 ・H27年度計画は全職員を対象としたセクシュアルハラスメント防止研修の実施で、H27年度は実施済み(H28年1月21日)。H26年度は参加者が28人(男性17人、女性11人)、H27年度は32人(男性19人、女性13人)参加者は微増している。なおH25年度は参加者は43人だった。 ・研修会の回数、参加人数は数値目標を入れるべき。内容については、角度を変えた取り組みがされており、改善されている。 ・現状で良いのでは。 | | | | | | | | | | | |
| | 判定理由及び改善策の提言等(案) | <p>昨年度と変化が見られないため、この評価としました。</p> <p>職員全員に正しい理解が行き渡るように、職域別、年代別の研修などの実施も検討してください。また、実施回数を増やす、自習する期間を設ける等の工夫をし、最終的には何サイクルかの後、全職員が研修を受け終わるようにしてください。数値目標に「全職員が受講する」等の設定を検討してください。</p> | | | | | | | | | | C | |

3 生涯を通じた健康支援

(1)生涯を通じた健康保持・増進支援

| | | | 各委員による評価 | | | | | | | | | 評価平均 | |
|----|---------------------|--|----------|---|---|---|---|---|---|---|---|------|-----|
| 84 | リプロダクティブ・ヘルス/ライツの啓発 | 健康推進課 | C | C | C | C | C | C | C | D | C | C | 2.9 |
| | 特記事項 (コメント) | <p>・目標設定に、さらに上を目指す姿勢が感じられない。現状に満足しているということか。</p> <p>・内容を見直して、<u>母親学級の内容を見直した点は評価したい。</u>一方で、<u>リプロダクティブ・ヘルス/ライツの啓発とは「子どもを持たないライフスタイルを選択する人々を含めた、すべての個人に保障されるべき健康概念」であるとの理解をしています。</u>様々なニーズを持つ人に向けた施策の検討をお願いしたいです。</p> <p>・現状維持とし、この評価としました。</p> <p>・実情にあった事業内容の見直しを進めながら、引き続き啓発に努めてください。</p> <p>・広報をしっかり行い、せっかくの講座なのですから、多くの方に参加していただけるよう益々努力いただきたいと思います。</p> <p>・H27年度計画はH26年度計画に講座内容の変更を加えたと記載あり、H27年度より<u>母親学級・両親学級の内容を見直し</u>、児童虐待、父親の育児参加、子育て支援制度の活用などを盛り込んでいる。H27年度は母親学級977人、父親学級439人、H26年度実績と同数。母子保健相談は784人で、H26年度実績の718人より増加している。</p> <p>・リプロダクティブ・ヘルス/ライツの意味を理解して、市が単なる母親学級でない女性の生涯を通じた身体学習ができるような講座やパンフ作成ができるよう次年度に期待する。今年度はそれが見られなかったなのでこの評価とした。</p> | | | | | | | | | | | |
| | 判定理由及び改善策の提言等(案) | <p>母親学級・両親学級の内容を見直したことは評価しますが、数値目標を「平成27年度と同程度の参加者数」としており、向上を目指していないと受け取れるため、現状維持として、この評価としました。</p> <p>子どもを持たないライフスタイルを選択する人々を含めた、すべての個人に保障されるべき健康概念であるリプロダクティブ・ヘルス/ライツの原点に戻り、未婚の男女も含めて様々なニーズを持つ人に向けた啓発事業を市民活動支援課との連携も含め、検討してください。</p> | | | | | | | | | | | C |

4 相談体制の充実

(1) 相談窓口の充実

| (1) 相談窓口の充実 | | 各委員による評価 | | | | | | | | | | 評価平均 | |
|-------------|--------------------|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|------|-----|
| | | | | | | | | | | | | | |
| 89② | 女性自身に関する相談(女性問題相談) | 市民活動支援課 | C | C | C | C | C | C | D | C | C | C | 2.9 |
| | 特記事項 (コメント) | <p>・数値目標設定に努力を。 ・<u>女性が安心して相談できる場を確保している点を評価したい。平日の開設だけでなく、月1回だけでも土日に開所できれば、幅広く相談を受付できるのではないかと考えます。</u> ・現状維持とし、この評価としました。女性の方が相談しやすい体制の検討をしてください。 ・相談カードの設置場所の拡大、<u>土・日・夜間の相談体制の導入を検討してください。</u> ・かなりの相談数に驚いております。引き続ききめ細かい対応に心掛けていただければと思います。 ・H27目標は相談体制は、H26年度継続実施、DV被害者マニュアル研修の実施。H27年度の相談体制にH26年度に対して変化なしで、H27実績は、相談総数1,331件でH26実績の1,324件減少、DV被害者マニュアル研修はH27実績に記載なし、H26年度は実施1回参加者46人。相談カードの設置場所の検討が今後の課題(現在は市内公共施設・一部の民間施設の女性トイレに配架) ・相談を受けたい市民がどういう時間帯に窓口に行けるかを考えないと、悩みを抱えた市民の相談窓口にはなっていない。相談員の就業時間から相談時間を決めては、いつまでもこの評価から良くならない。</p> | | | | | | | | | | | |
| | 判定理由及び改善策の提言等(案) | <p>女性が安心して相談できる場を確保しているものの、まだ相談しづらい状況があるため、この評価としました。 平日だけでなく、月1回だけでも土・日・夜間に相談窓口を開設できるとより相談しやすくなります。外部委託も含めた土・日・夜間の相談体制の導入を検討してください。</p> | | | | | | | | | | | C |

IV 男女共同参画社会づくり

1 普及・啓発活動の推進

(1) 広報・啓発活動の充実

| | | | 各委員による評価 | | | | | | | | | | 評価平均 |
|-----|------------------|---|----------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|------|
| 91① | 広報紙・啓発冊子等での啓発の充実 | 広報課 | C | C | C | C | C | C | C | C | C | C | 3.0 |
| | 特記事項 (コメント) | <p>・数値目標設定に努力を。広報紙やテレビでの広報を少なくとも月一回は実施するなど。</p> <p>・府中市民に配布している広報物に意識啓蒙のための紙面を掲載していることは評価できる。府中市民にどのくらい「男女共同参画」が浸透しているか無作為のアンケートをとることなどできないか。(府中市民だった時に、ポストに数回アンケートが入っていたため)アンケートをとることで、広報の課題が見えてくると思われま。その改善活動により、府中市はさらに良くなると思います。</p> <p>・現状維持とし、この評価としました。</p> <p>・<u>広報紙やテレビ広報等の具体的活用事例について記載してください。</u></p> <p>・ヒアリング効果が感じられ、「より具体的な行動」という部分に大いに期待しています。</p> <p>・数値目標は困難だが、H27実績は男女平等に関する事業について、広報ふちゅうに掲載したとあり。内容的に数値化が難しいとあるため、具体的な実施実績の記載がなく評価は難しい。</p> <p>・今までの媒体の中での広報活動は一定の評価ができるが、HP(例えば、グーグルのように、暴力根絶キャンペーン週間ではバックの色をバイオレットにするとか)やSNS等、新しい媒体を使ったフレッシュな広報を期待する。</p> <p>・情報化社会の現状を見るにつけ、対策改善の方向性は認められるが、インターネットの活用等、まだまだ可能性が見つけられるように思われる。</p> <p>・今年度から大分変わって良くなりました。読む人、特に女性の意見を聞く機会を作ってはいかがですか？</p> | | | | | | | | | | | |
| | 判定理由及び改善策の提言等(案) | <p>広報物に意識啓蒙のための紙面を掲載していることは評価できますが、どれほど意識啓蒙ができているかわからないので、この評価としました。</p> <p>広報についてのアンケートやモニターを実施する等し、特に女性の意見を聞く機会を作ることを検討してください。</p> <p>また、ヒアリングに応じていただいた内容を活かし、引き続き男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動の充実に努めていただくとともに、広報紙やテレビ広報、ツイッターやホームページ等のインターネットの具体的活用事例について記載してください。</p> | | | | | | | | | | | C |

1 普及・啓発活動の推進

(3) 推進体制の充実

| | | | 各委員による評価 | | | | | | | | 評価平均 | | |
|----|-----------------------|--|----------|---|---|---|---|---|---|---|------|---|-----|
| 95 | 男女共同参画の推進に係る庁内推進組織の運営 | 市民活動支援課 | C | B | C | B | C | C | C | B | B | B | 3.5 |
| | 特記事項 (コメント) | <ul style="list-style-type: none"> ・数値目標設定に努力を。 ・<u>男女共同参画推進本部を設置し、課題抽出に取り組んでいることは評価したく、この評価としました。今後は課題解決に向けた改善活動に確実に取り組むことを期待しています。</u> ・現状維持とし、この評価としました。 ・男女共同参画推進本部を設置し、定例会を開催するとともに、アンケート調査を実施し、7つの課題を抽出したことを高く評価します。 ・<u>アンケートを取って問題点や課題を「見える化」しているところが素晴らしいと思います。回収率はどの位でしたでしょうか。これらを少しでも改善できるよう、引き続きご尽力いただければと思います。</u> ・H27年度計画は男女共同参画推進本部、下部組織の幹事会・専門部会の開催をすとあり、H27実績は、本部会議2回、幹事会2回、専門部会4回開催とあり。だが、新項目(H26年度評価項目)にないため、比較評価は困難。 ・実績や評価というより、自己評価の適切さとそれを受けての次の課題に向けての取組を評価した。 ・今後の課題が具体的に示されているので、解決策へ向けての行動が動き出せるのではと期待している。 ・頑張りを期待しています。 | | | | | | | | | | | |
| | 判定理由及び改善策の提言等(案) | <p>男女共同参画推進本部を設置し、課題抽出に取り組んでいることを評価したく、この評価としました。 アンケートを取って問題点や課題を「見える化」しているところは素晴らしいと思うので、今後は課題解決に向けた改善活動に着実に取り組むことを期待しています。</p> | | | | | | | | | | | B |